町会広報「ニツ屋」

～令和７年１２月１５日発行＝弘前市新里二ツ屋町会～

８日夜１１時１５分にかなり大きな地震発生！

～初の「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表！　それって　なぁに？

８日夜の寝入りばな、枕もとのスマホのアラームが最大音量で鳴った。画面には「緊急地震速報」と大書きされ、「強い地震が来ます」と必死のアナウンスも流れた。
すぐに「かたかた」と細かい振動があり、続いてユサユサと大きく揺れ出した。**「大きい！」**と直感した。・・・・八戸方面では「６強」（上から２番目の強さ）の震度を記録し、津波警報が発表された。そして津波に伴い、避難指示が発令された。小雪舞う深夜の避難、大変な思いをしたことだろう。

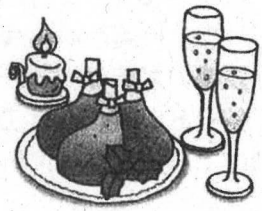
さて、気象庁の発表では弘前は「震度４」。周辺でも目立った被害も発表されていない。
でも、いくつか確認しておくことにしよう。

1「北海道・三陸沖後発地震注意情報」って　なぁに？

２０２２年（令和４年）から運用されているもので、北海道から三陸沖にかけての「千島海溝・日本海溝」でマグニチュード７以上の地震が起きた場合、あまり時間をおかない巨大地震（Ｍ８～９クラス）が発生する確率が高まった時に発表される注意情報。「高まった時」と言っても１％というのが現在の確率で、必ず起きるというものではない。９９％は来ない確率です。

この注意報は対象地域をしぼって発表していて、弘前などの内陸地帯は対象になっていない。
＊地震は来るかもしれないが、津波を特に警戒しているのです。

2　地震は必ず来ます、必ず収まります。



裏面の資料にあるように、プレートは年間３～８㎝動いています。動いているので「ぶつかったり」、「くだけたり」、「ひずみがたまったり、ひずみが一気に解消されてもとにもどったり」しているのです。そのたびに台地が振動して地震が起き、津波が起きているのです。日本にいる限り地震は宿命なのです。でも、地球が壊れてしまったり、大地が裂けて真っ赤な溶岩が噴き出したりということはないのです。そして、地震は２分くらいで必ず終わりますから、安全な場所で収まるのを待つのです。

①地震は必ず来ますが、いつ来るとかどこに来るとかは予知できません。「○○日に地震が来る」という予知情報はデマ（ウソ情報）です。

②地震は１～２分くらい続きますが、その間は身体の安全を確保してじっと待ちます。周りで何が起きているかを自分の目で確かめ、今その場で自分にできる最大の安全行動をし、揺れが収まったらどう行動するかを決断する。

③市のハザードマップによれば、二ツ屋の最大震度は「5強」。太平洋で起きても日本海で起きても内陸で起きても震度「６弱」までは行かないのです。だから、建物被害は「ほぼない」と想定しています。問題は、家具などの倒壊や落下による被害の拡大と火災の発生です。この関係だけ大至急取り組んでもらえれば良いと思います。

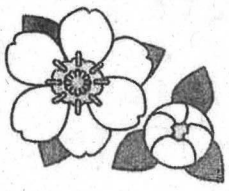
④子どもたちに地震のことを教えてください

3,11の震災が起きたのは１４年前。中学生まではだれも大地震の経験がありません。高校生でも大地震の記憶のある人は少ないと思います。そういう若い人たちに「地震」のことを事実として教えておくのは大人の責任です。町の安全のことや通学上の安全のことなどを現実に即して教えておいてください。

ちなみに、避難所についてですが、二ツ屋の避難所は「福村小学校」となっていますが、町会では大雨などの場合でも福村小学校へは避難しないことにしています。途中に水没や浸水の箇所があり危険だからです。

本当に避難が必要になった場合は町会役員や関係機関と相談して対応します。

雪の季節です＝時間に余裕、スピードは－10km/h



冬の準備は済みましたか。この時期、車の事故の原因は「スピード」です。スリップするともう事故を観念しなければならないほどの状態になります。時間にゆとりを持ち、スピードは控えめに運転しましょう。

また、以前のニュースに、「タイヤがはずれる」というのがありました。スタッドレスに履き替えたら５０キロくらい走った後で「ナットのゆるみをしめなおす」のが大切だそうです。実践しましょう。

お知らせ

①宅神祭の申込み終了：追加申込みは１６日までに町会長へ電話で（　　）へ
②令和８年二ツ屋町会総会：１月１１日（日）10:00～：決議権参加者は各世帯一人＊総会出席者には昼食